islonline

アカウントページ マニュアル

目次

1. ログインページ 4
オンラインページにログインする 4
2. オンラインページ 6
3. アカウントページ 8
3.1. 🔒 ユーザー 8
ユーザー（オペレーター）を追加する 9
ユーザー（オペレーター）のプロフィール（Email・氏名）を変更する..... 10
ユーザー（オペレーター）を CSV ファイルで取り込む 11
ユーザー（オペレーター）ごとに異なる設定を割り当てる 13
詳細設定 13
ダイアログ設定 17
ユーザー（オペレーター）をエクスポートする 18
ユーザー（オペレーター）のパスワードを変更する 19
ユーザー（オペレーター）を削除する 20
ドメインの設定を変更する 21
3.2. 🔒 履歴 22
ワンタイム接続／常駐接続 22
Web 会議..... 25
ライセンス使用状況 27
プリペイドクーポン 29
権限設定: 履歴画面 31
3.3. プロフィール設定 32
3.4. ライセンス 33
現在利用中のセッションを確認/切断する 34
ライセンスの契約内容を確認する 34
🔒 管理者（ライセンス所有者）情報を変更する..... 35
3.5. セキュリティ 36
2 段階認証を設定する..... 37
認証アプリ 37
電話番号 39
Email 40
2 段階認証を解除する..... 43
アカウントにログインした端末の履歴を確認する 44
4. アクティベーション 45

🔒 アクティベーションキーを登録してライセンスを有効化/更新する..... 45

🔒 鍵マークについて

このアイコンのついているメニューは初期設定では管理者（ライセンス所有者）のみ利用できます。

本マニュアルについて

本マニュアルは ISL Online パブリッククラウドライセンスをご利用中の方の「アカウントページ」に関するマニュアルです。
アカウントページは管理者（ライセンス所有者）、および管理者が作成したユーザーがログインして利用できます。

プライベートクラウドライセンス、オンプレミスライセンスをご利用中の方、ISL Online の各製品の利用方法については、製品ごとの別紙マニュアルをご参照ください。

▼マニュアル
https://www.islonline.jp/help/manual/manual.html

ユーザーの作成とログイン方法について

管理者（ライセンス所有者）はドメイン内にユーザーを作成して管理できます。ユーザーを作成している場合は、意図しないユーザーでのログインを防ぐため、**「¥¥ドメイン名¥ユーザー名（メールアドレス）」**の形式でログインすることを推奨しています。
（大文字、小文字は区別して認識されます）

■ ユーザーを作成していない場合
メールアドレス（例：tarou@oceanbridge.jp）

■ ユーザーを作成している場合※
・管理者（ライセンス所有者）
¥¥ドメイン名¥メールアドレス（例：¥¥Ocean¥tarou@oceanbridge.jp）
・ユーザー（オペレーター）
¥¥ドメイン名¥ユーザー名（例：¥¥Ocean¥jirou）

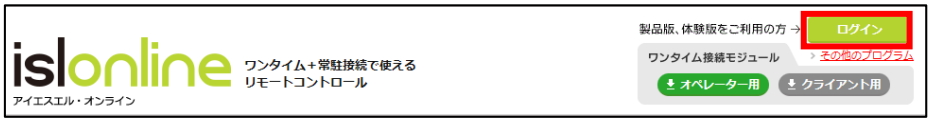
※ ドメイン名の変更方法は「ドメインの設定を変更する」をご参照ください。
※ 環境によっては「¥」マークが「バックスラッシュ」で表示されます。

1.　ログインページ

ISL Online の体験版、製品版をご利用中の方は、ユーザー専用のオンラインページを利用できます。製品ホームページ右上にある［ログイン］を選択してご利用ください。

▼製品ホームページ

https://www.islonline.jp/

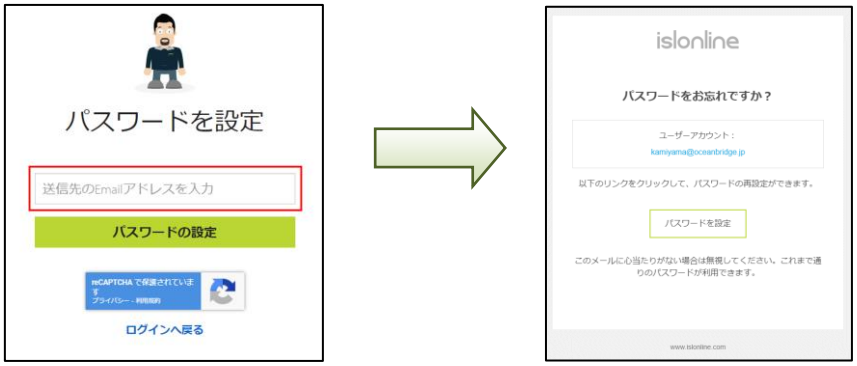


オンラインページにログインする

ご登録いただいている Email またはユーザー名、パスワード※ を入力して［ログイン］を選択します。（ユーザー名の記載方法が分からない場合、前ページに記載の「ユーザーの作成とログイン方法について」をご参照ください）

※ **パスワードを忘れた場合**

ログインページの［パスワードを忘れた場合］を選択します。ISL Online アカウント作成時に登録した Email を入力して、受信したメールからパスワードの再設定をします。



2 段階認証を有効にしている場合、ログインを選択した後にセキュリティコードの入力を求められます。セキュリティコードを入力して［認証する］を選択します。

［補足］

・2 段階認証の詳細については、「3.5 セキュリティ（P. 36）」をご参照ください。

・誤ったセキュリティコードを 3 回入力すると強制的にログアウトされます。
　しばらく時間を置いた後、再ログインできるようになります。

2. オンラインページ

オンラインページにログインすると、以下のメニューが利用できます。

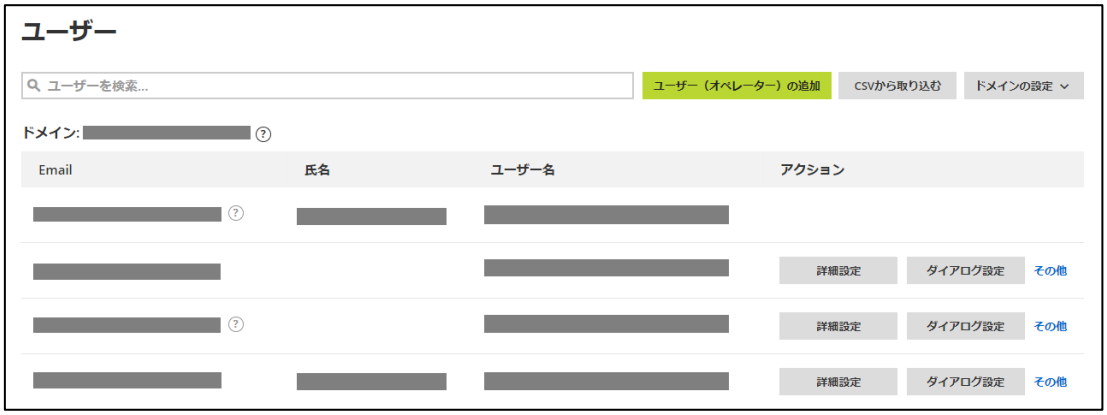
①製品	ISL Online の各製品を利用できます （ワンタイム接続/常駐接続/Web 会議） 詳細な利用方法については、各製品のマニュアルをご参照ください
②管理	**🔒 ドメイン管理** 全体およびユーザー個別に機能の利用制限などが設定できます **本機能はライセンス管理者とライセンス管理者が許可したユーザーのみ利用可能です。**詳細な利用方法については、ドメイン管理マニュアルをご参照ください https://islsupport.oceanbridge.jp/portal/ja/kb/isl-online/manual/administration **🔒 ユーザー** ユーザーの登録・削除・無効化、個別に制限をかける設定などはこちらから行えます
③ ダッシュボード	・接続中のセッション 自身を含む全ユーザーの現在利用中のセッション状況（ワンタイム接続、常駐接続）が確認できます。

	履歴 ISL Online の利用状況を確認できます。
④ **オンプレミス**	オンプレミスライセンスをお持ちのユーザーが利用するメニューです ISL Conference Proxy のサーバー登録などができます 詳細な利用方法は、製品マニュアルをご参照ください ▼ISL Conference Proxy 新規セットアップマニュアル https://www.oceanbridge.jp/isl/cp/manual/ISLOnlineServerManual.pdf
⑤**マイアカウント**	・プロフィール ユーザー情報（Email、パスワード、氏名、ニックネーム）を変更します。 ライセンス ご契約中のライセンス情報が表示されます。プリペイドクーポンの残り（利用可能）時間もこちらから確認できます。 複数ライセンスをお持ちの場合のメニュー切り替え、ライセンスのアクティベーションを登録してライセンスを有効化/更新もこちらから行えます。詳細については「4 アクティベーション（P.45）」をご参照ください ・セキュリティ 2 段階認証（多要素認証）の設定や ISL Online のアカウントにアクセスした端末情報を確認できます。 ・ログアウト ご利用中のアカウントからログアウトします。

3. アカウントページ

3.1. 🔒 ユーザー

ドメイン内にユーザーを作成して管理できます。

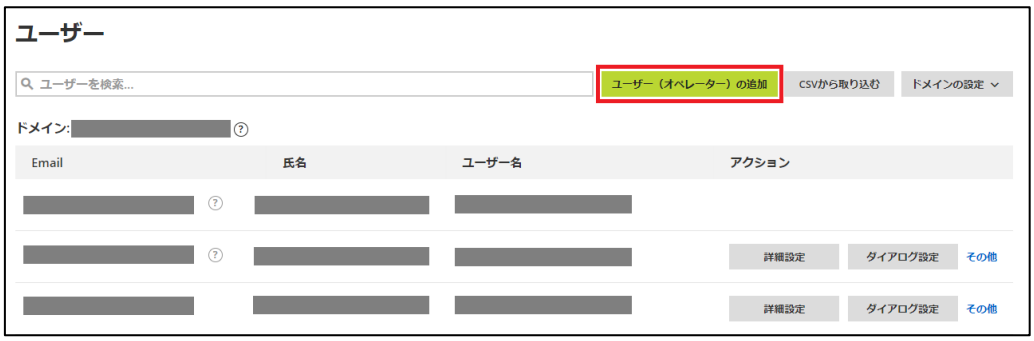


本項目では以下の設定方法をご案内します。

- ユーザー（オペレーター）を追加する
- ユーザー（オペレーター）のプロフィールを変更する
- ユーザー（オペレーター）を CSV ファイルで取り込む
- ユーザー（オペレーター）ごとに異なる設定を割り当てる
- ユーザー（オペレーター）をエクスポートする
- ユーザー（オペレーター）のパスワードを変更する
- ユーザー（オペレーター）を削除する
- ドメインの設定を変更する

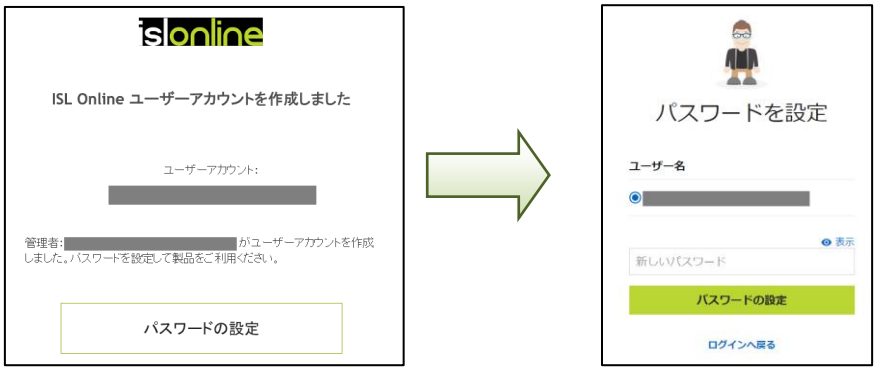
ユーザー（オペレーター）を追加する

1. ［ユーザー（オペレーター）の追加］を選択して、ISL Online を利用するユーザーを作成します。**一度作成したユーザーのユーザー名は変更できません**。変更が必要な場合は、新たに作成します。



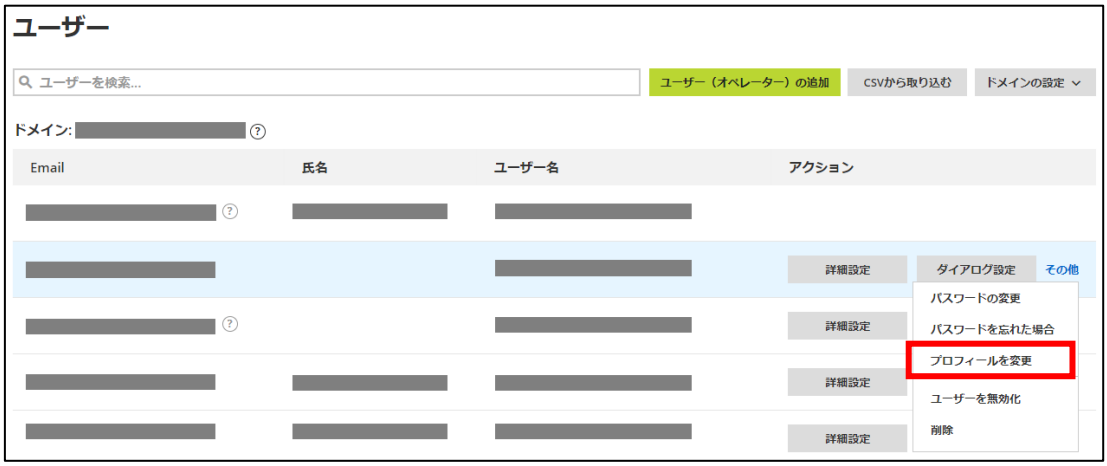
2. ユーザー名、Email、氏名（任意）を入力して、［保存］を選択します。

3. 作成したユーザーの Email にパスワードを設定するメールが送信されます。ユーザーは受信メールより新しいパスワードを設定して、［変更］を選択します。



ユーザー（オペレーター）のプロフィール（Email・氏名）を変更する

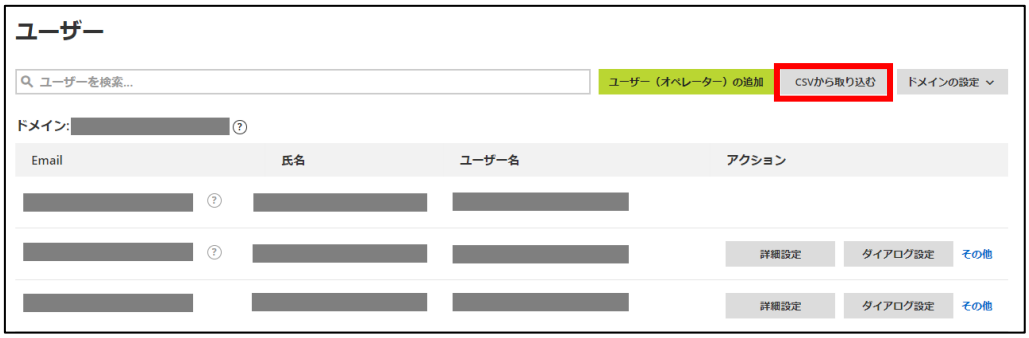
1. ［その他］-［プロフィールを変更］を選択します。



2. 情報を編集し、［プロフィールの変更］を選択します。

ユーザー（オペレーター）を CSV ファイルで取り込む

1. ［CSV から取り込む］を選択します。



2. 取り込むユーザーを定義した CSV ファイルをアップロードし、［確認］を選択します。

※ CSV ファイルは、先頭列から「**ユーザー名(一意の ID)**, **Email**, **氏名**」の順で作成します。なお列名は含めずに作成してください（列名がある場合、エラーによりインポートができません）。

※ 区切り文字はコンマ（","）またはセミコロン（";"）が使用できます。

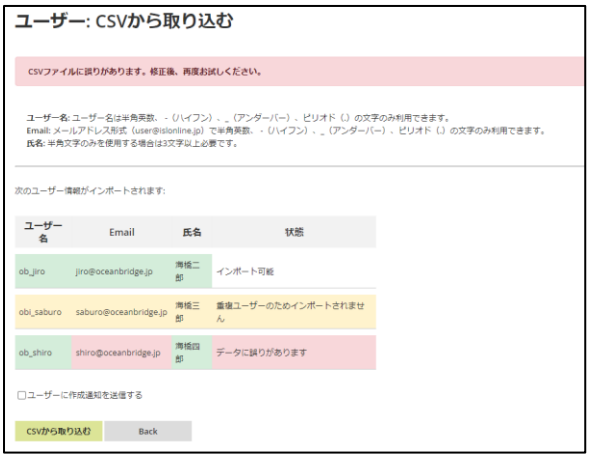
※ 「氏名」に半角文字のみを使用する場合は 3 文字以上が必要です。

※ CSV ファイルで一度に取り込めるユーザーの上限は 500 です（取り込みは 10 分程度かかります）。なお、一度に大量のユーザーを取り込むとサーバーエラーが表示されることがありますが、内部では処理が実行されます。処理の完了後に再度アクセスするとページが表示されます。

3. 取り込みユーザーの確認画面が表示されます。確認後、[CSV から取り込む] を選択します。取り込みユーザー宛にメール通知を送信する場合には、「ユーザーに作成通知を送信する」にチェックを入れます。

※ インポートデータにエラーがあるとインポートが実行できません。CSV ファイルを修正後、再度アップロードしてください。

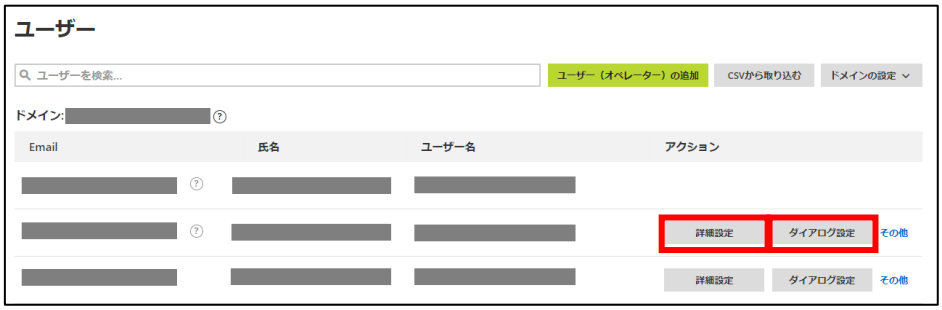
4. インポート後、取り込みが完了したユーザーの一覧が表示されます。
3. で作成通知オプションにチェックを入れた場合、作成された各ユーザーはメール通知内のリンクからパスワードが設定できます。
また、以下のリンクにアクセスしてパスワードを設定することも可能です。
▼パスワードを変更
https://www.islonline.com/login/password-forgot.htm



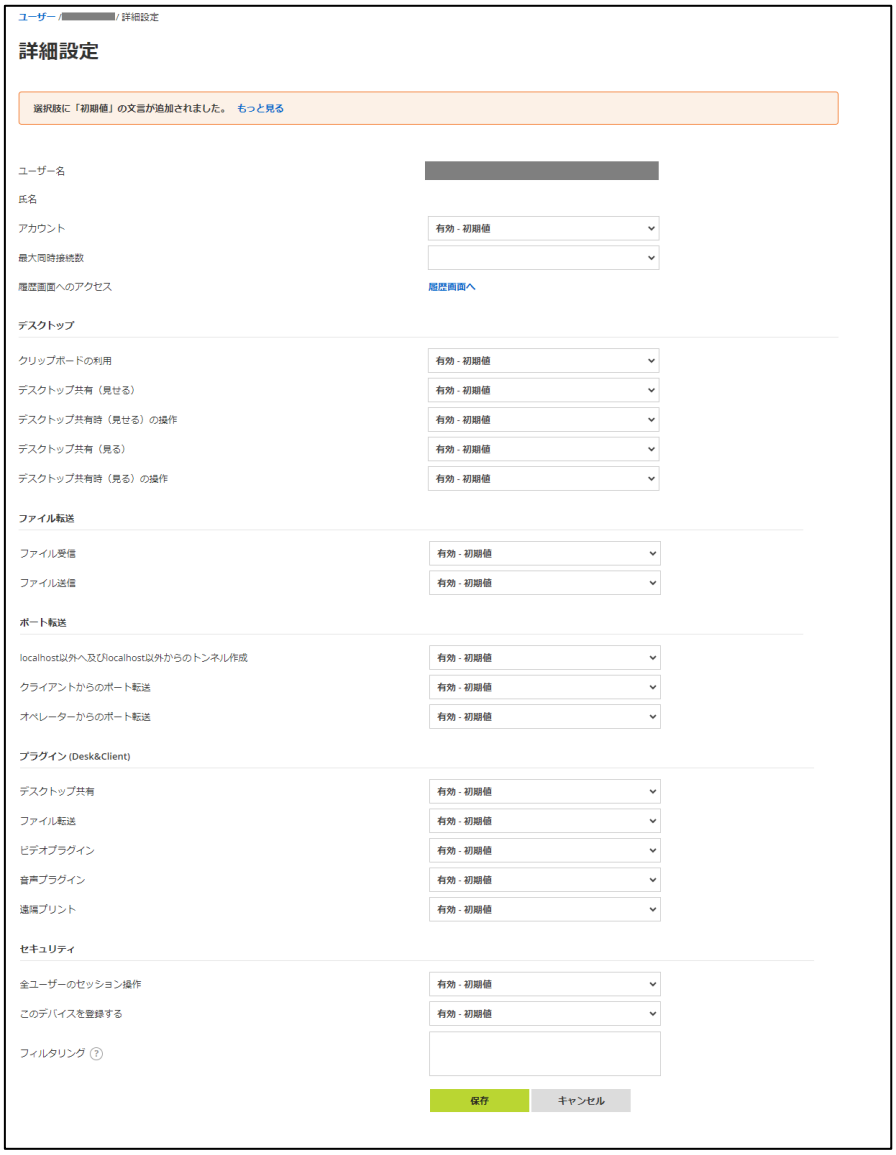
※重複したユーザーは取り込みがスキップされます。

ユーザー（オペレーター）ごとに異なる設定を割り当てる

ユーザーごとに利用できる ISL Online の機能を制限します。



詳細設定



アカウント	このユーザーによる製品の利用を許可/禁止※1します
最大同時接続数	複数のライセンスをご利用の場合、このユーザーで利用できる最大同時接続セッション数を制限します （体験版をご利用中の方は「2」に設定されています）
履歴画面へのアクセス	このユーザーによる製品の利用履歴の閲覧を許可/禁止します※2 （初期値では、履歴の閲覧は禁止されています）
デスクトップ	ISL Light、ISL Light Desk&Client のクリップボードや画面共有に関する機能を制限します
クリップボードの利用	デスクトップ共有中、オペレーター端末とクライアント端末でのクリップボードの共有を許可/禁止※1します
デスクトップ共有（見せる）	デスクトップ共有を行う際の「見せる」機能を許可/禁止※1します
デスクトップ共有（見せる）の操作	オペレーターの画面を見せる際、クライアントによるコントロールを許可/禁止※1します
デスクトップ共有（見る）	デスクトップ共有を行う際の「見る」機能を許可/禁止※1します
デスクトップ共有（見る）の操作	クライアントの画面を見る際、オペレーターによるコントロールを許可/禁止※1します
ファイル転送	ISL Light、ISL Light Desk&Client のファイル転送に関する機能を制限します
ファイル受信	ファイル受信を許可/禁止※1します
ファイル送信	ファイル送信を許可/禁止※1します
ポート転送	ISL Light の代替接続に関する機能を制限します
localhost 以外へ及び localhost 以外からのトンネル作成	内部ネットワーク端末への接続を目的としたクライアント端末の利用（踏み台）や、ポート転送によるプリンターの使用を許可/禁止※1します
クライアントからのポート転送	クライアントからのポート転送を許可/禁止※1します
オペレーターからのポート転送	オペレーターからのポート転送を許可/禁止※1します
プラグイン (Desk&Client)	ISL Light Desk&Client の画面共有やファイル転送に関する機能を制限します （ISL Light Desk&Client の機能のみを制限する場合に設定します）
デスクトップ共有	画面共有機能の利用を許可/禁止※1します
ファイル転送	ファイル転送機能の利用を許可/禁止※1します
ビデオプラグイン	ビデオチャット機能の利用を許可/禁止※1します
音声プラグイン	音声チャット機能の利用を許可/禁止※1します
遠隔プリント	遠隔プリント機能の利用を許可/禁止※1します

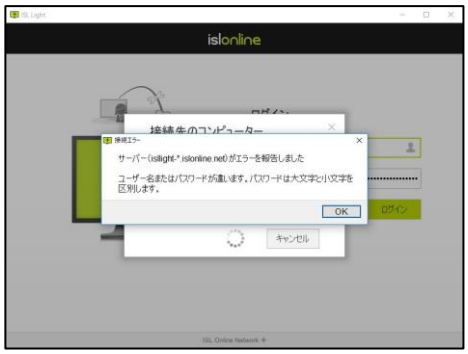
セキュリティ	セキュリティに関する機能を制限します
全ユーザーのセッション操作	ドメイン内でアクティブなセッション（自身を含む全ユーザーが利用中のセッション）の切断を許可/禁止※1します 現在利用中のセッションの確認方法は 3.4 をご参照ください
このデバイスを登録する	2 段階認証の際に表示されるオプション[このデバイスを登録する]の利用を許可/禁止※1します
フィルタリング※3	ユーザーが利用できる端末の IP アドレス、MAC アドレスを制限します 許可：allow_ip, allow_mac, allow_all 禁止：deny_ip, deny_mac, deny_all

※1 許可：有効にします / 禁止：無効にします。「初期値」とは、その値がドメインレベルの設定値から継承されていることを意味します。

※2 [履歴画面へ]を選択後、すべてのユーザーのアクセス権限を一括で設定します。設定方法は、P.31「権限設定: 履歴画面」をご参照ください。

※3 **フィルタリングについて**

ユーザーが利用できる接続元端末の IP アドレス、MAC アドレスを制限します。フィルタリングは「ISL Light」の使用を許可/禁止するものであるため、当該ユーザーは**ワンタイム接続および常駐接続の両方が利用できなくなります**。改行または半角セミコロンで区切って設定します。



■ 記入例 1： allow_ip xxx.xxx.xxx.xxx

allow_ip xxx.xxx.xxx.0/255.255.255.240

deny_all

このユーザーは「xxx.xxx.xxx.xxx」の IP アドレスを持つ端末、または「xxx.xxx.xxx.0/28」のサブネットマスクに属する端末上でのみ製品を利用できます。

■ 記入例 2： allow_mac xx-xx-xx-xx-xx-xx;deny_all

このユーザーは「xx-xx-xx-xx-xx-xx」の MAC アドレスを持つ端末上でのみ製品を利用できます。

■ 記入例 3： allow_ip xxx.xxx.xxx.xxx

allow_mac xx-xx-xx-xx-xx-xx

deny_all

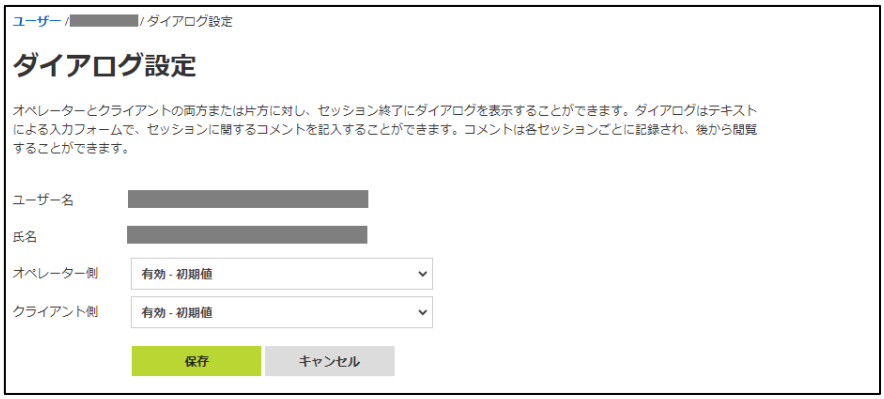
このユーザーは「xxx.xxx.xxx.xxx」の IP アドレスを持つ端末、または「xx-xx-xx-xx-xx-xx」の MAC アドレスを持つ端末上でのみ製品を利用できます。

[注意]
現在、パブリッククラウドライセンスではサブネットマスクのフィルタリングに CIDR 表記での記述ができません。

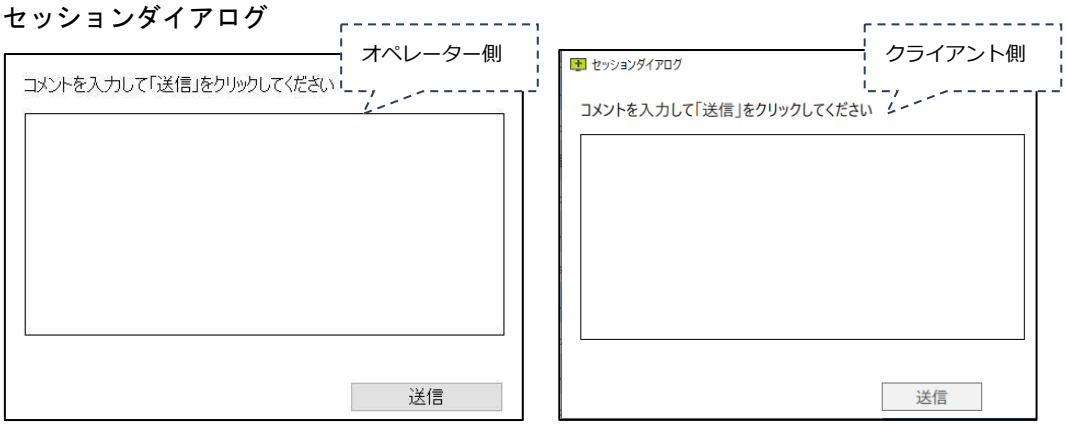
[補足]
・フィルタリングは**ユーザー単位**、常駐接続の**端末単位**の 2 箇所で設定できます。
両者は並行して設定することも可能です。
・本マニュアルでは**ユーザー単位**でのフィルタリング設定方法を記載しています。**端末単位**で接続元のコンピューターを制限したい場合は、接続先のコンピューターの常駐接続クライアントの設定画面から設定を行ってください。端末単位での設定方法は、別紙『常駐接続（ISL AlwaysOn）マニュアル』をご参照ください。
・IP アドレスによるフィルタリングでは、ISL サーバーへのアクセスで使用する IP アドレスを指定します。
サーバーにアクセスする IP アドレスは、以下のリンク先で確認できます。
https://www.islonline.net/myip

ダイアログ設定

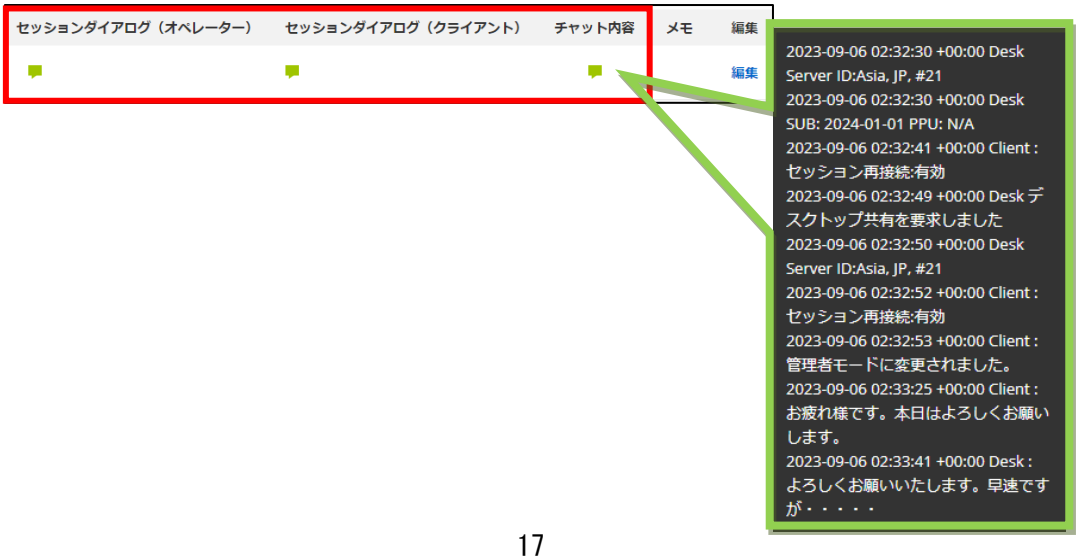
有効にした場合、リモート接続終了時に表示されるセッションダイアログにコメントを入力できます。また、セッション中のチャット内容が履歴に保存されるようになり、ここから転送されたファイルの履歴も確認できます。



セッションダイアログ

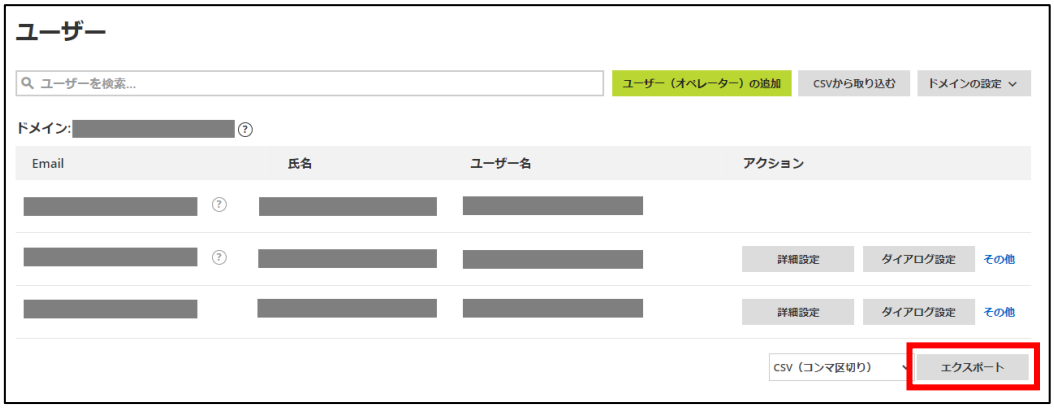


セッションダイアログに入力したコメントおよびチャット内容は、履歴で確認できます。履歴の詳細については、「3.2 履歴」をご参照ください。



ユーザー（オペレーター）をエクスポートする

［エクスポート］を選択して、ドメイン内のユーザーと各ユーザーに割り当てられた設定の一覧を CSV ファイルに出力できます。



氏名	ユーザーの氏名を出力します
ニックネーム	ユーザーのニックネームを出力します
ユーザー名	ログインに利用する Email またはユーザー名を出力します
Email	ユーザーの Email を出力します
アカウント	「アカウント」の設定値※1 を TRUE/FALSE※2 で出力します
最大同時接続数	「最大同時接続数」の設定値※1 を出力します
デスクトップ共有	「デスクトップ共有」の設定値※1 を TRUE/FALSE※2 で出力します
ファイル転送	「ファイル転送」の設定値※1 を TRUE/FALSE※2 で出力します

※1　詳細設定（P.13）をご参照ください。

※2　TRUE：有効 / FALSE：無効

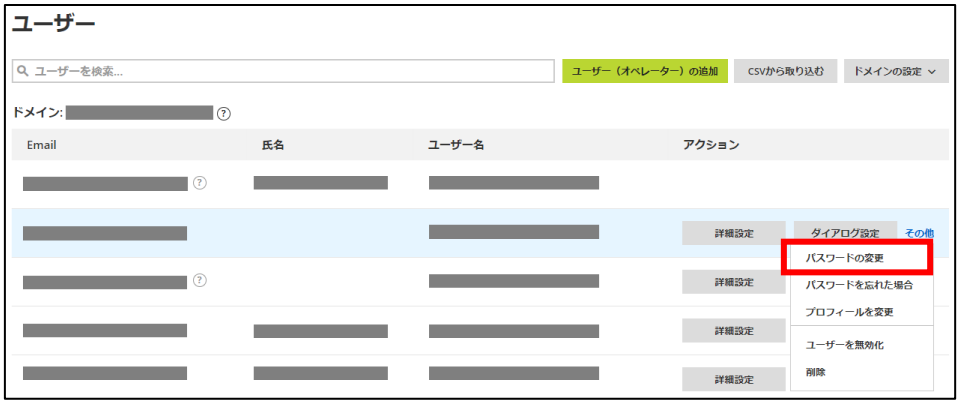
［補足］

・CSV ファイルの区切り文字はコンマ（,）またはセミコロン（；）がご利用いただけます。

ユーザー（オペレーター）のパスワードを変更する

管理者（ライセンス所有者）がユーザーのパスワードを強制的に変更する場合

1. ［その他］-［パスワードを変更］を選択します。



2. 8 文字以上の推測されにくいパスワードを設定し、［パスワードの変更］を選択します。パスワードには ASCII 印字可能文字（半角英数字、ハイフンなど）が使用できます。

ユーザー自身に新たにパスワードを設定させる場合

1. ユーザー一覧の［その他］-［パスワードを忘れた場合］を選択すると、ユーザーの Email に変更に必要なメールが自動で送信されます。再度変更メールを送信する場合は、［送信］を選択します。

ユーザー（オペレーター）を削除する

［ユーザーの削除］を選択して、対象のユーザーを削除します。1 度ユーザーを削除すると元に戻すことができないのでご注意ください。なお、ユーザーの無効化では該当アカウントの停止が可能な他、後から取り消しもできます。

■　**対象ユーザーが常駐接続の接続先（クライアント）を登録している場合**

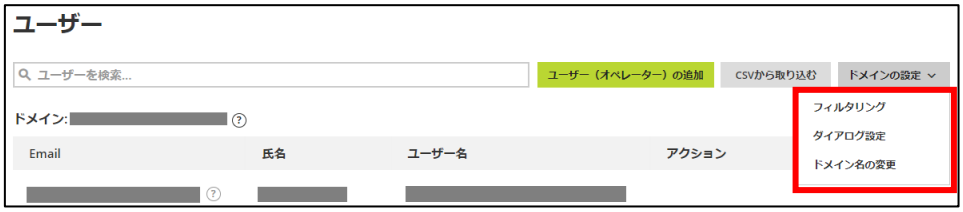
以下の画面が表示されます。「同意する」にチェックし、「このユーザーが現在接続できるコンピューターの台数（常駐接続）」に表示されている数字を「対象となるコンピューターの台数」に入力し、［ユーザーの削除］を選択します。

■　**対象ユーザーが常駐接続のグループ所有者の場合**

対象ユーザーが常駐接続のグループ所有者の場合、ユーザーを削除することはできません。ユーザーの無効化によりアカウントを使用停止にするか、表示された警告のリンクからグループの所有者を変更後、ユーザーを削除してください。

ドメインの設定を変更する

P.15「フィルタリング」およびP.17「ダイアログ設定」は、［ドメインの設定］でドメイン全体に対しても設定できます。ドメイン名の変更もこちらで行います。

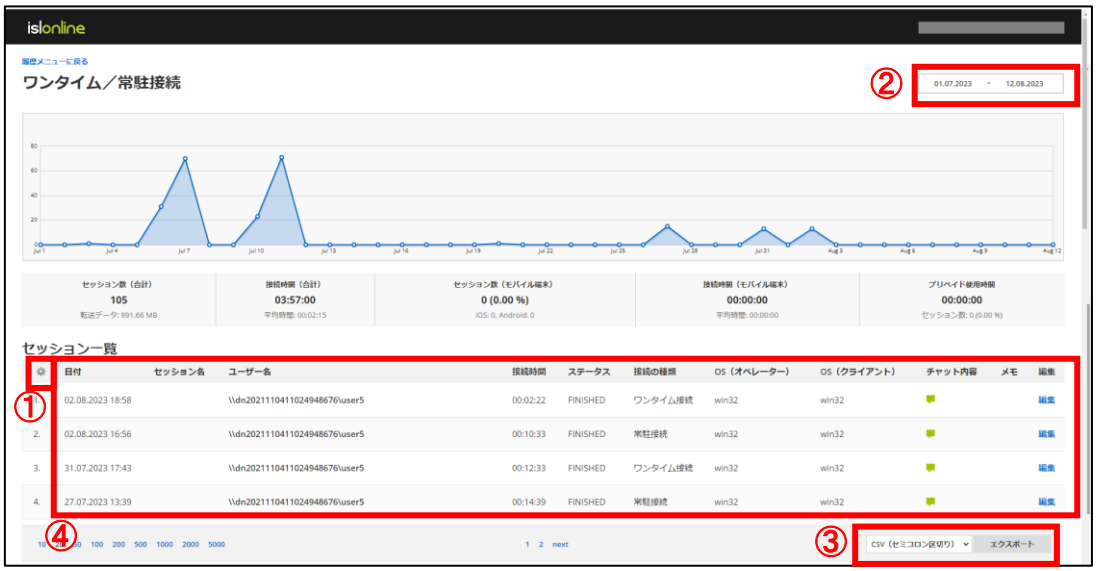


3.2. 履歴

ISL Online の利用状況を確認できます。

ワンタイム接続／常駐接続

ワンタイム接続および常駐接続の利用状況を確認できます。



①ツールボタン	セッション履歴に表示する項目が選択できます 表示したい内容の項目にチェックを入れ[変更] を選択します		
②期間選択	表示する期間を選択します（日.月.年）		
③エクスポート	セッション履歴を CSV 出力します 区切り文字はカンマ(,)またはセミコロン(;)を指定します		
④セッション履歴	**項目名**	**表示名**	**説明**
	日付	Date	セッションコード取得日時
	セッションコード	Session Code	セッションコード
	セッション	Session	セッションにつけられた名称

	名	Name	
	ユーザー名	Username	接続を行ったユーザー名
	Email（クライアント）	Client Email	Email 招待によってセッションに参加したクライアントのメールアドレス
	接続時間	Session Duration	セッション接続時間の合計
	ステータス	Status	RUNNING：セッションの接続時 FINISHED：セッションの一時停止および終了時 RECONNECTED：一時停止からの再開およびセッション転送による再接続時
	接続の種類	Session Type	セッション接続の種類（ワンタイム接続/常駐接続）
	開始時間	Session Start	セッションの開始時間（UTC）
	転送データ（Bytes）	Bytes	セッション中に転送されたデータ量の合計
	サーバー	Server	接続に使用した中継サーバー
	OS（オペレーター）	Desk Platform	オペレーターの OS 種別
	Ver（オペレーター）	Desk Version	オペレーターが接続に使用した ISL プログラムのバージョン
	IP アドレス（オペレーター）	Desk IP	オペレーターの IP アドレス
	OS（クライアント）	Client Platform	クライアントの OS 種別
	Ver（クライアント）	Client Version	クライアントが接続に使用した ISL プログラムのバージョン
	IP アドレス（クライアント）	Client IP	クライアントの IP アドレス
	ホスト名（クライアント）	Client Hostname	クライアントのホスト名（PC 名）
	詳細（クライアント）	Client Description	クライアントの詳細
	ホスト名（オペレーター）	Desk Hostname	オペレーターのホスト名（PC 名）

	MAC アドレス（クライアント）	Client MAC Addresses	クライアントの MAC アドレス一覧
	MAC アドレス（オペレーター）	Desk MAC Addresses	オペレーターの MAC アドレス一覧
	プリペイド使用時間	PPU Minutes Used	プリペイドライセンス使用時間
	セッションダイアログ（オペレーター）	Desk Comment	接続元セッションダイアログに記載した内容※
	セッションダイアログ（クライアント）	Client Comment	接続先セッションダイアログに記載した内容※
	チャット内容	Chat Transcript	セッション接続中のテキストチャットの内容や送受信された転送ファイルの名称※
	メモ	Notes	セッションに関する補足情報
	編集	Edit	「セッション名」「Email（クライアント）」「メモ」編集用アイコンの表示
	マルチセッション ID	Multi-session ID	使用しません

※ ユーザーページより「ダイアログ設定」を有効にした場合のみご利用いただけます

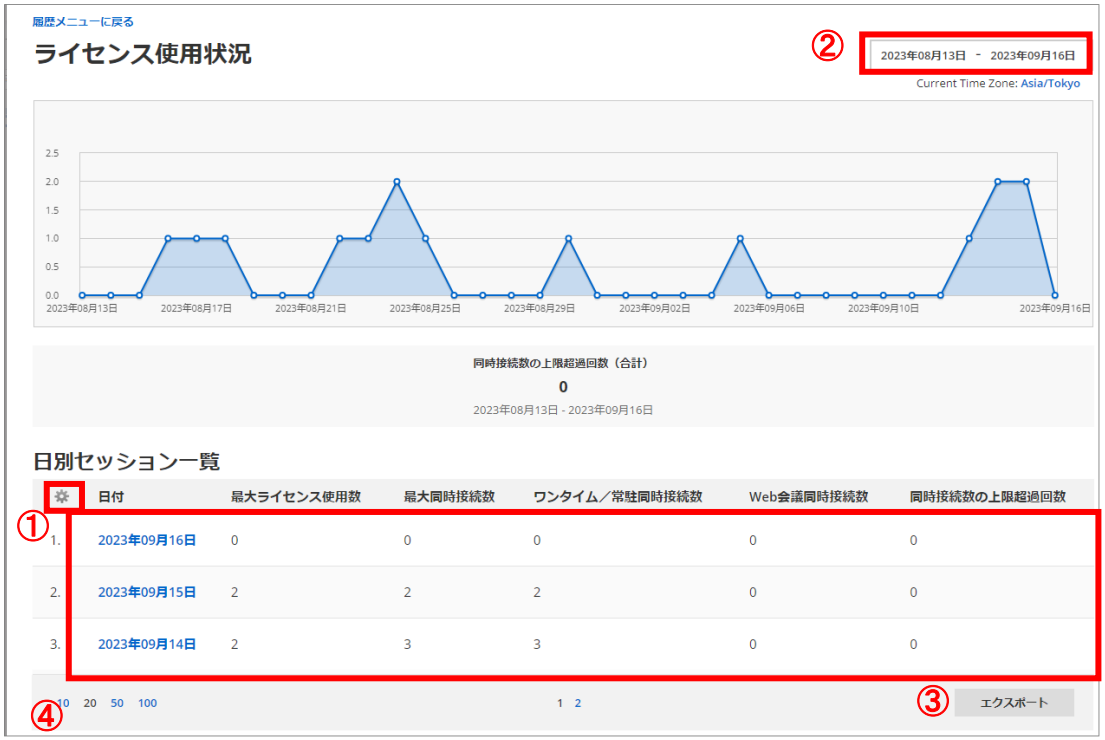
Web 会議

Web 会議の使用状況を確認できます。

①ツールボタン		セッション履歴に表示する項目が選択できます 表示したい内容の項目にチェックを入れ[変更]を選択します	
②期間選択		表示する期間を選択します（日.月.年）	
③エクスポート		セッション履歴を CSV 出力します 区切り文字はカンマ(,)またはセミコロン(;)を指定します	
④履歴	**項目名**	**表示名**	**説明**
	詳細	Details	
	名称	Title	会議/セミナーにつけられた名称
	オーナー	Owner	会議/セミナーの主催者名
	種類	Type	meeting：WEB 会議 webinar：WEB セミナー
	開始時間（UTC）	Session Start（UTC）	会議/セミナーを開始した時間（UTC）
	終了時間（UTC）	Session End（UTC）	会議/セミナーを終了した時間（UTC）
	接続時間	Session Duration	会議/セミナーを開催していた時間（合計）
	ステータス	Session Status	FINISHED：
	参加人数（ユニーク）	Unique Participants	会議/セミナーに参加していた人数

ライセンス使用状況

ご契約中のライセンスの使用状況を日毎に確認できます。また、日付を選択すると時間帯別に使用状況を確認できます。



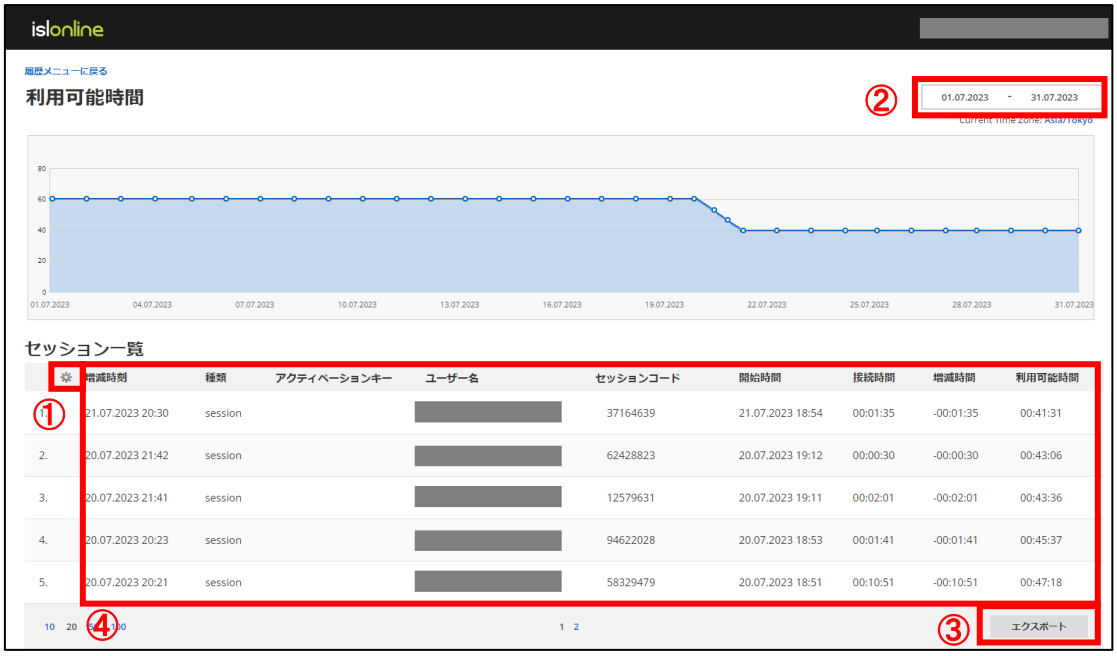
①ツールボタン	履歴に表示する項目が選択できます 表示したい内容の項目にチェックを入れます
②期間選択	表示する期間を選択します（年.月.日）
③エクスポート	ライセンス使用状況履歴を CSV 出力します 区切り文字はセミコロン(;)が適用されます

④ライセンス使用履歴

項目名	表示名	説明
日付 （または時間）	Date	ユニークな日付（または時間）です
最大ライセンス使用数	Peak Licence Usage	該当する日付（または時間）の最大ライセンス使用数が表示されます（最大同時接続数と同じです）
最大同時接続数	Max Concurrent Connections	該当の日付（または時間）に行われたワンタイム接続、常駐接続、Web 会議の最大同時接続数の値が表示されます
ワンタイム/常駐同時接続数	ISL Light Sessions	該当の日付（または時間）に行われたワンタイム接続、常駐接続の最大同時接続数の値が表示されます
Web 会議同時接続数	ISL Groop Sessions	該当の日付（または時間）に行われた Web 会議の最大同時接続数の値が表示されます
同時接続数の上限超過回数	License Limit Hit	同時接続数が契約ライセンス数に到達している状態の時に新規セッションが試行され、接続に失敗した回数が表示されます

プリペイドクーポン

プリペイドクーポンの利用状況を確認できます。

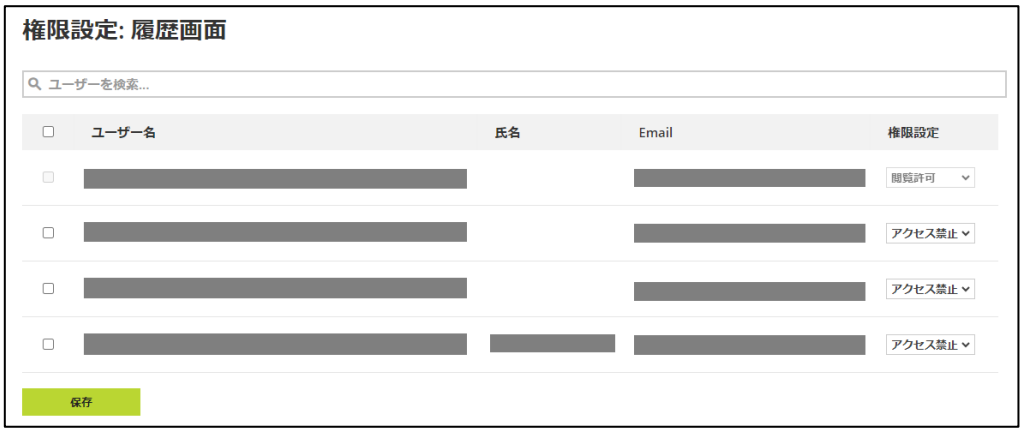


①ツールボタン		履歴に表示する項目が選択できます 表示したい内容の項目にチェックを入れ[変更] を選択します	
②期間選択		表示する期間を選択します（日.月.年）	
③エクスポート		プリペイドクーポンの使用履歴を CSV 出力します 区切り文字はカンマ(,)またはセミコロン(;)を指定します	
④利用・追加履歴	**項目名**	**表示名**	**説明**
	増減時刻	Transaction Time	プリペイドクーポンの増減を算出した日時
	種類	Type	session：セッション履歴 key activation：アクティベーション履歴
	アクティベーションキー	Activation Key	プリペイドクーポン追加時に使用したアクティベーションキーが表示されます （「種類」が「key activation」の場合）
	ユーザー名	Username	接続を行ったユーザー名
	セッションコード	Session Code	セッションコード
	開始時間	Session Start	セッションの開始時間（UTC）
	接続時間	Session Duration	セッション接続時間の合計
	増減時間	PPU Change	プリペイドクーポンの利用可能時間の増減
	利用可能時間	PPU Minutes Available	プリペイドクーポンの残りの利用可能時間

権限設定: 履歴画面

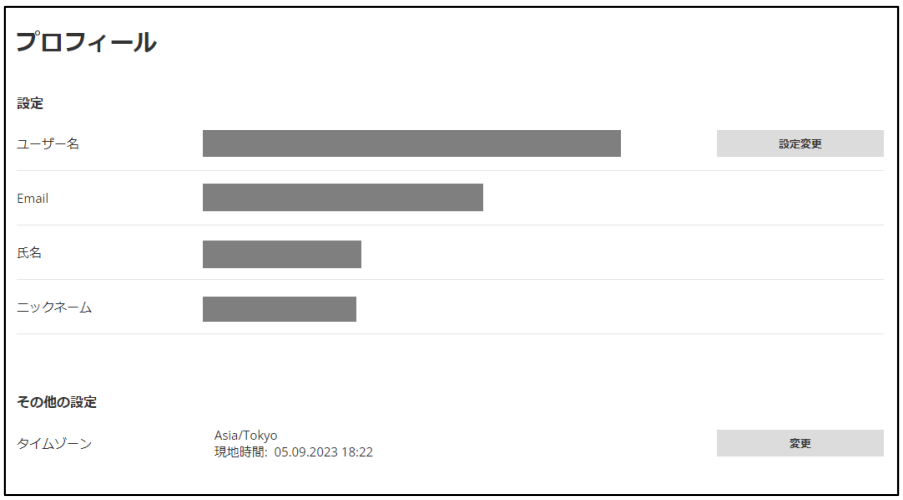
各ユーザーについて、製品の履歴画面へのアクセス権限を一括で設定できます。権限設定のドロップダウンリストから[閲覧許可/アクセス禁止]を選択後、左下の[保存]で設定を適用します。

※　初期値では、管理者以外のすべてのユーザーの権限設定が[アクセス禁止]となっています。



3.3. プロフィール設定

ユーザー情報（Email、パスワード、氏名、ニックネーム）を変更します。



設定変更	ユーザー情報（Email、パスワード、氏名、ニックネーム）、システムのタイムゾーンを変更します。 ※パスワードや電子メールを変更するときは、再度ログインが必要になります。 管理者（ライセンス所有者）のユーザー名（Email）を変更する場合、P.33「3.4 ライセンス」の「管理者（ライセンス所有者）情報を変更する」をご参照ください。
その他の設定	管理するドメインに対して標準のタイムゾーンを設定します

3.4. ライセンス

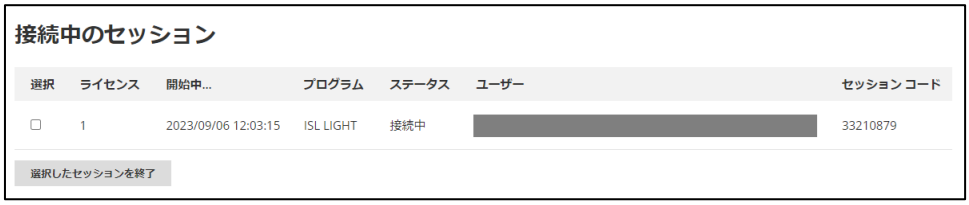
ご契約中のライセンス情報を確認できます。

本項目では以下の設定方法をご案内します。

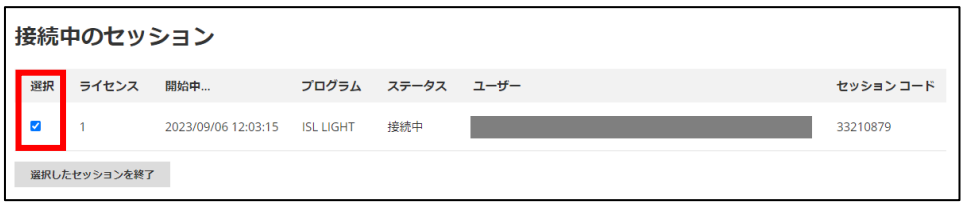
- 現在利用中のセッションを確認/切断する
- ライセンスの契約内容を確認する
- 管理者（ライセンス所有者）情報を変更する

現在利用中のセッションを確認/切断する

1. ［表示］を選択すると、自身を含む全ユーザーの現在利用中のセッション状況（ワンタイム接続、常駐接続）が確認できます。
（製品ページのワンタイム接続では、自身が利用中のセッションのみを確認できます）

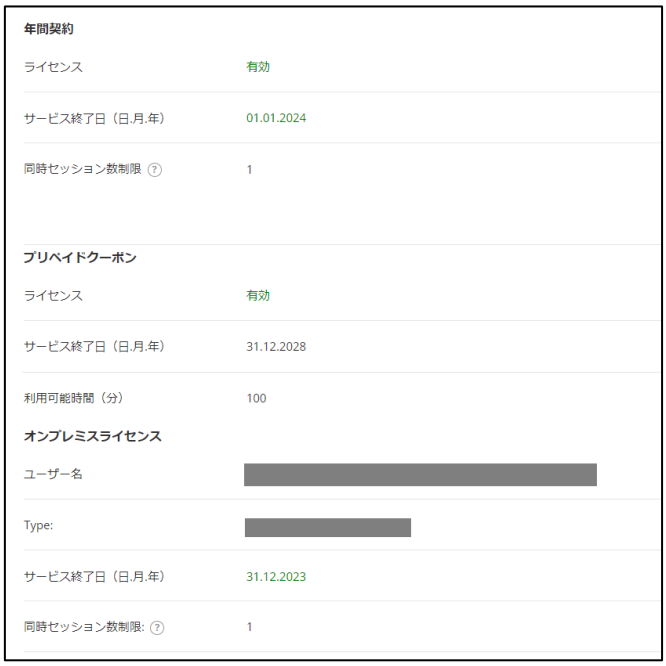


2. セッションを強制的に切断する場合は、切断したいセッションにチェックを入れ、［選択したセッションを終了］を選択します。



ライセンスの契約内容を確認する

ご契約中のライセンス情報が表示されます。
プリペイドクーポンの残り（利用可能）時間もこちらから確認できます。



管理者（ライセンス所有者）情報を変更する

管理者（ライセンス所有者）のユーザー名を変更する場合は、［変更］を選択します。
ユーザー名を変更すると **Email も同時に変更**されるのでご注意ください。

3.5. セキュリティ

2 段階認証（多要素認証）※ の設定や ISL Online のアカウントにアクセスした端末情報を確認できます。

※ 2 段階認証（多要素認証）とは
2 段階認証を有効にすると、アカウントのセキュリティを強化できます。ログイン時にパスワード入力に加えて認証アプリ、電話番号、Email から取得できるセキュリティコードの入力が必要になります。

サポート対象の認証アプリは以下の通りです。

- Google Authenticator
- Microsoft Authenticator

2 段階認証はユーザーごとに設定されるため、管理者（ライセンス所有者）の 2 段階認証を有効にしてもドメイン全体には適用されません。ドメインに属するユーザーの 2 段階認証はユーザーごと個別に設定を行ってください。

何らかの理由（端末の故障など）でセキュリティコードが取得できない場合、アカウントにログインできなくなります。必ず複数の認証方法・端末を設定してください。

本項目では以下の設定方法をご案内します。

■ 2 段階認証を設定する

- 認証アプリ
- 電話番号
- Email

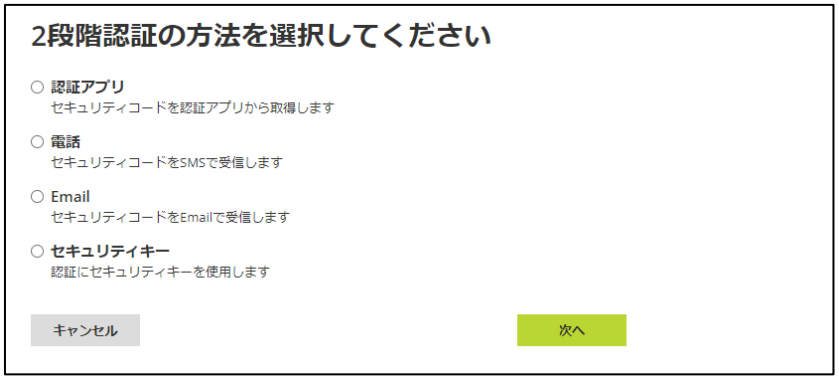
■ 2 段階認証を解除する

■ アカウントにログインした端末の履歴を確認する

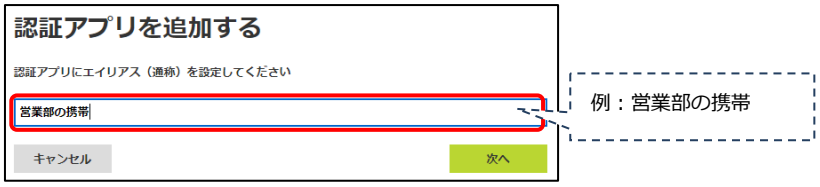
2 段階認証を設定する

認証アプリ

1. セキュリティページより「2 段階認証」を選択して、2 段階認証の方法から認証アプリを選択して、[次へ] を選択します。



2. 認証アプリに通称（任意の名前）を設定して、[次へ] を選択します。



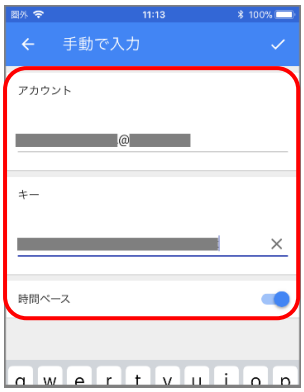
3. デバイス上で認証アプリを起動して、アカウントのセットアップを行います。
※手動で設定を行う場合は、以下の手順で設定を行ってください。

(1) 「手動で設定を行う」をクリックします。

(2) 設定キーが表示されます。

(3) 認証アプリを起動して、アカウントのセットアップを行います。

例）Google Authenticator



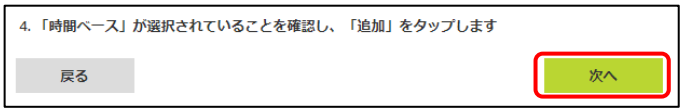
・「アカウント（Email アドレス）」を入力
※任意の文字列でも可能ですが、識別のため設定されているアカウント（Email アドレス）の入力を推奨します

・「キー」欄に 2. で発行した設定キーを入力

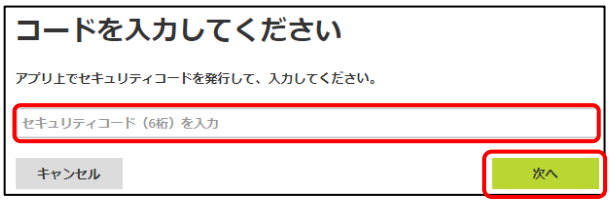
・「時間ベース」が選択（有効）されていることを確認

4. 認証アプリの設定を保存して、認証コードを発行します。

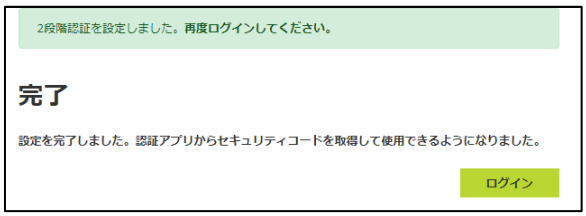
5. ブラウザ画面に戻り、[次へ] を選択します。



6. 発行されたセキュリティコードを入力して、[次へ] を選択します。



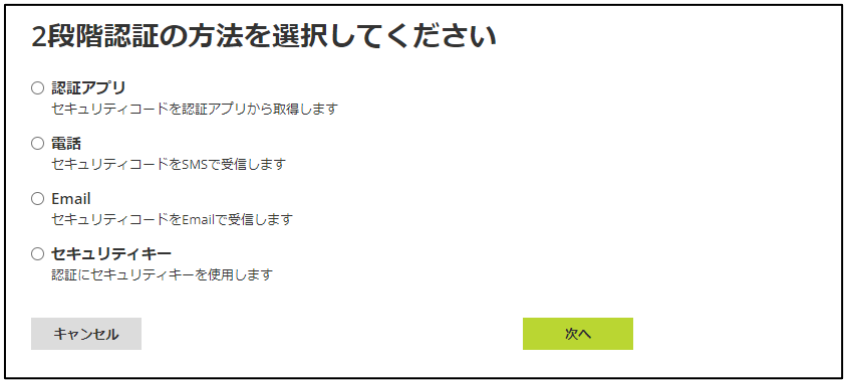
7. 認証を完了すると設定が保存され、以下のメッセージが表示されます。



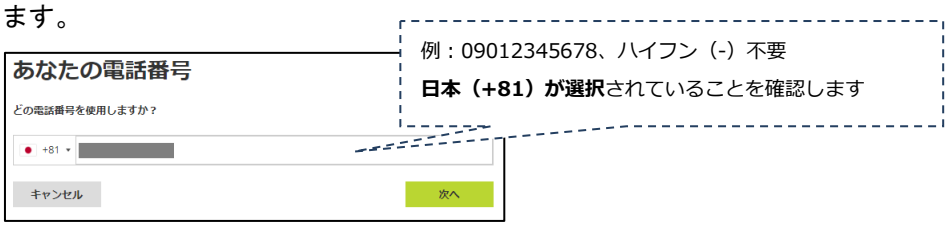
以降、設定したアカウントでログインすると、ログイン情報（ユーザー名およびパスワード）の入力に続き、認証アプリから発行されたセキュリティコードの入力が必要になります。セキュリティコードの有効期間は「1 分間」です。

電話番号

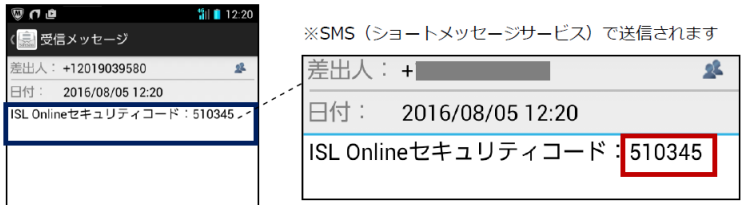
1. セキュリティページより「2 段階認証」を選択して、2 段階認証の方法から電話を選択して、［次へ］を選択します。



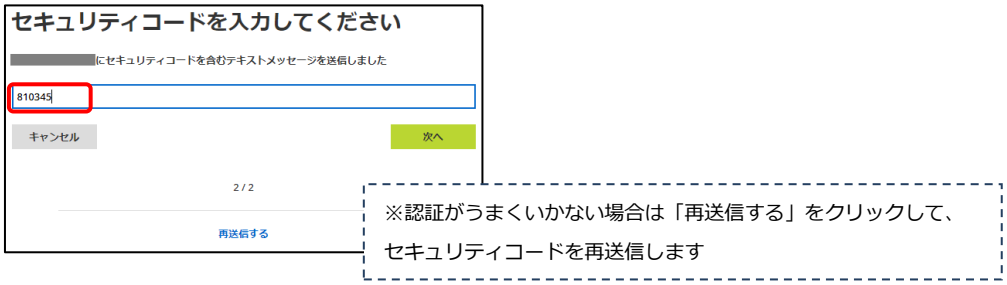
2. セキュリティコードの送信先（携帯電話の電話番号）を設定して、［次へ］を選択します。



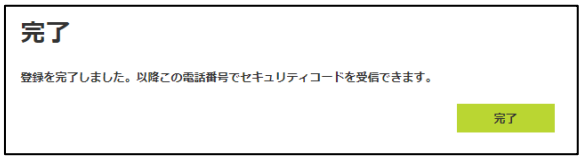
3. 登録した電話番号に、セキュリティコード（6 桁）が SMS で送信されます。



4. 受信したセキュリティコードを入力して、[次へ] を選択します。



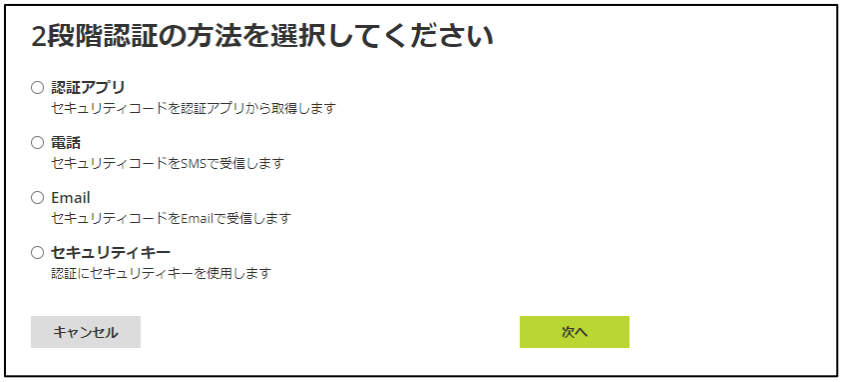
5. 認証が完了すると設定が保存され、以下のメッセージが表示されます。



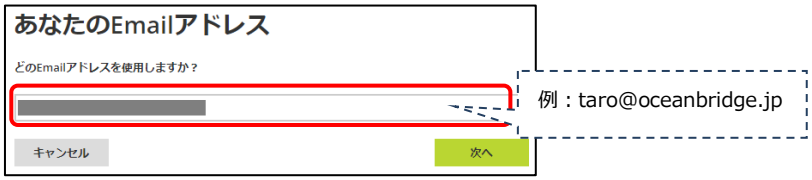
以降、設定したアカウントで ISL Online へログインすると、ログイン情報（ユーザー名およびパスワード）の入力に続き、セキュリティコードの入力が必要になります。
セキュリティコードの有効期間は「2 分間」です。

Email

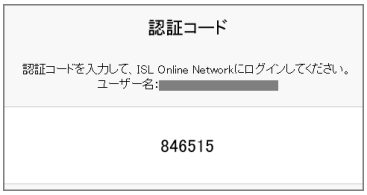
1. セキュリティページより「2 段階認証」を選択して、2 段階認証の方法から Email を選択して、[次へ] を選択します。



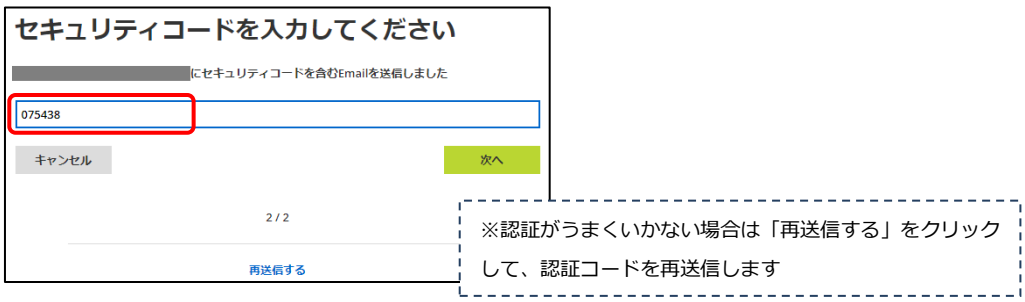
2. 認証コードの送信先（Email）を入力して、[次へ] を選択します。



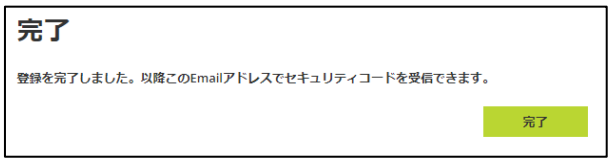
3. 登録した Email 宛に、認証コード（6 桁）が通知されます。



4. ブラウザ画面で認証コードを入力して、[次へ] を選択します。



5. 認証を完了すると設定が保存され、以下のメッセージが表示されます。



以降、設定したアカウントで ISL Online へログインすると、ログイン情報（ユーザー名およびパスワード）の入力に続き、登録した Email 宛に通知されるセキュリティコードの入力が必要になります。セキュリティコードの有効期間は「5 分間」です。

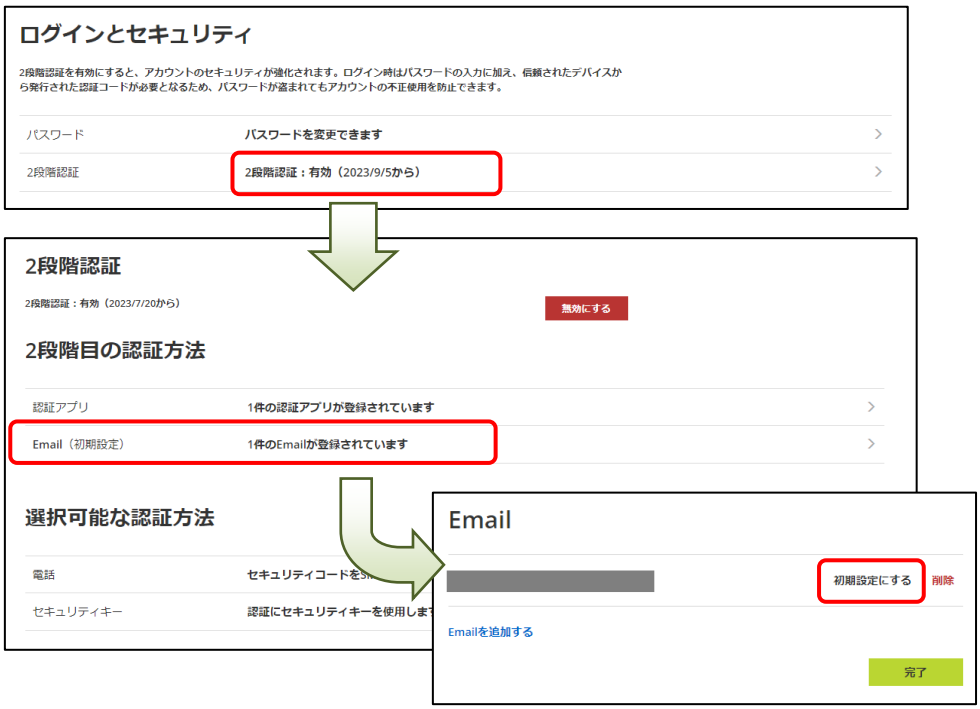
[補足]

・2 段階認証によるログイン時に[このデバイスを登録する※]にチェックを入れた場合、次回ログイン時にセキュリティコードの入力が不要になりますが、「30 日間」経過すると再度認証を求められます。

※ このデバイスを登録する

・複数の認証方法・端末を設定した場合でも、セキュリティコードは「初期設定」の宛先のみに送信されます。認証画面の[別の認証方法でコードを取得]を選択することで、他の認証方法や端末でセキュリティコードが取得できます。

《複数の認証方法がある場合の「初期設定」》



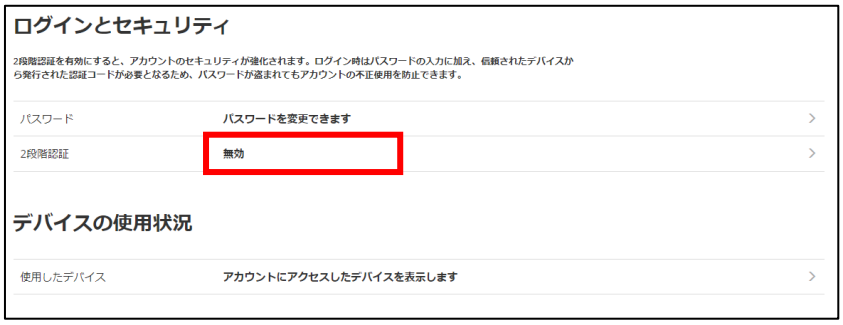
2 段階認証を解除する

1. 2 段階認証を設定している場合、「有効」が表示されます。

2. 2 段階認証を無効（解除）する場合、［無効にする］を選択します。

3. 表示されたメッセージを確認して、［無効にする］を選択します。
（「登録した認証デバイスを削除する」にチェックを入れると、登録した認証アプリ、電話番号、Email の情報を完全に削除します。再度 2 段階認証を有効にする場合は、新たにデバイスを登録する必要があります）

4. セキュリティページの 2 段階認証の項目が無効になっていることを確認します。



アカウントにログインした端末の履歴を確認する

［使用したデバイス］を選択すると、オンラインページおよび ISL Online の各製品からアカウントにログインした端末の履歴を確認できます。

4. アクティベーション

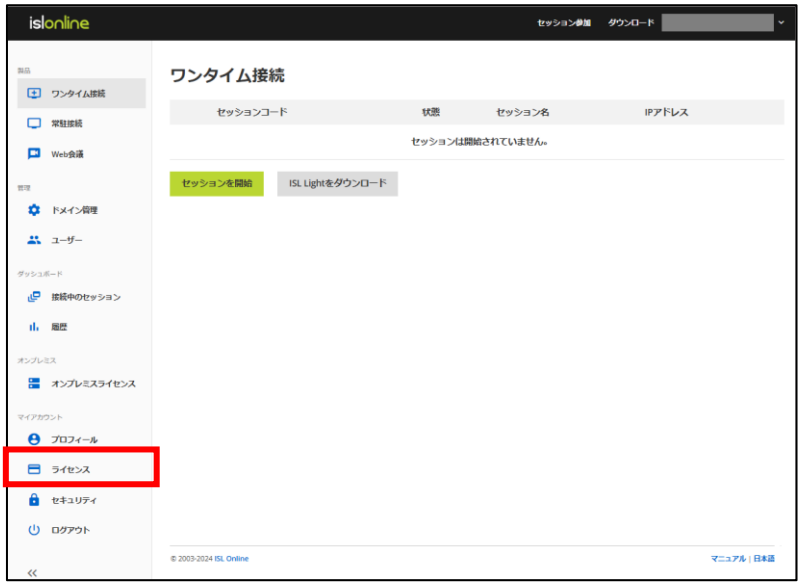
アクティベーションキーを登録してライセンスを有効化/更新します。

アクティベーションキーを登録してライセンスを有効化/更新する

アクティベーションを行う前に以下をご確認ください。

- 体験版で使用したアカウントをそのまま利用する方は、体験版と同一の Email とパスワードを使用してください。
- ご利用中のライセンスの更新を行う場合は、以前から使用している Email とパスワードを使用してください。
- アカウントをお持ちでない場合は、体験版を登録してアカウントを作成してください。
  ▼体験版お申込み
  https://www.islonline.com/signup/index.htm
- 体験版利用時と異なるアカウントを使用する場合は、新たに体験版を登録した後にアクティベーションを行ってください。

1. ［ライセンス］を選択します。



2. ［アクティベーション］を選択します。

3. アクティベーションキーを入力して［続ける］を選択します。
（「通知メールを送信する」にチェックを入れると、アクティベーション完了後に管理者（ライセンス所有者）の Email へ通知メールを送信します）

4. 新しいライセンス情報を確認後、［アクティベーション］を選択します。

5. 「3.4 ライセンス（P.33）」でアクティベーション内容が反映されたことを確認します。

ご不明点や不具合などがございましたら、下記 ISL Online FAQ ページをご参照ください。
https://www.islonline.jp/help/index.html

ISL Online 製品に関するお問い合わせはメールのみになります。
電話でのお問い合わせは受け付けておりませんのでご了承ください。

製品の詳しい情報については、以下の ISL Online ウェブページをご参照ください。
https://www.islonline.jp/

ISL Online 開発元

XLAB d.o.o.

URL: https://www.xlab.si/

ISL Online 国内総販売代理店

株式会社オーシャンブリッジ

URL: https://www.oceanbridge.jp/